

# リトルシニアの投球数制限に関する統一ガイドライン

日本リトルシニア中学硬式野球協会

投手の投球数制限に関しては、次に掲げるリトルシニア独自のガイドラインに基づくものとする。

- ① 1日最大90球以内とし、連続する2日間で130球以内とする。連続する2日間で90球を超えた場合、3日目は投球を禁止する。
- ② 3連投(連続する3日間)する場合は、1日目と2日目の1日の投球数を45球以内(1日目または2日目に45球を超えた場合、3連投はできない)とし、3日目の1日の投球数を40球以内とする。なお、4連投(連続する4日間)は禁止する。
- ③ 大会中は1日90球投球後、翌日投球を休めば3日目は90球の投球を可能とする。
- ④ 打席の途中で制限数に達した場合、当該打者の打席終了までは投球を認める。ただし、制限数を超過した球数は投球数にカウントし、翌日の投球可能数から差し引く。なお、連投最終日は制限数に達した時点で降板となる。【3連投(連続する3日間)の場合は適用しない】
- ⑤ 打者に対して投じた投球がボークとなった場合は、投球数にカウントする。また、12秒及び、20秒ルールに抵触して課せられたボールは投球数にカウントしない。
- ⑥ 申告敬遠は投球数にカウントしないが、敬遠に至るまでに実際に投じた投球はカウントする。  
(例：1ストライク2ボールになり申告敬遠をした場合、それまでに投じていた3球は投球数にカウントする。)
- ⑦ 雨などで特別継続試合になった試合も投球数にカウントする。
- ⑧ 異なる大会であっても、連日投球する投手は、この統一ガイドラインに則った投球数制限で投球するようお願いします。

## 投手の投球数制限における投球可能数のケース

(投球数)

	第1日目	第2日目	第3日目	第4日目	第5日目	第6日目	予備日
投手 A	90	40		※ 90 (95)	※ 35		90
投手 B	45	45	40		45	45	40
投手 C		80	50		40	90	
投手 D	50	第一試合 40		45	第一試合 25	40	
		第二試合 40			第二試合 20		
投手 E	45		45	85		90	40
投手 F	90		90		90		90

※ 投手 A の第4日目、打席の途中で制限数「90球」に達したが、当該打者の打席終了まで投球し、その日の投球数は「95球」となった。よって、投手 A の第5日目の投球可能数は「35球」となり、打席の途中であっても制限数「35球」に達した時点で投手 A は降板となる。

以上

]